

公益社団法人 日本技術士会 神奈川県支部  
第 21 回テクノセミナーHP 報告書

開催日	平成 30 年 12 月 11 日(火)
開催時間	13:30～16:40
名称	第 21 回 テクノセミナー
主催者	技術士活性化委員会 地域広報小委員会
開催場所	横浜市青少年育成センター関内ホール第1研修室
行事内容 (100 文字程度)	【IoTで何ができるのか】「業務改善に向けたIoTの活用」 中小・中堅企業でのIoTの活用を念頭に、まずは、IEの歴史・技法の解説を行い、IoTへのつながりも含め、IoTの内容や導入事例の紹介を行った。
参加人数	一般企業 4 名、正会員 32 名、準会員 3 名、 <span style="float: right;">計 39 名</span>

概要

講演 1: 「IEの基礎（伝統的な現場改善の手法）」

講師：北村 浩一 技術士(経営工学)

生産現場での IoT の活用には基礎となる IE(経営工学)の理解が必要とし、IEの歴史的な背景、及び各種技法の解説が行われた。その上で、IE と IoTをどのように結びつけて行くべきかを述べられ、IoTで得られたデータの分析手法として、IEを活用すべきと解説された。

講演 2: 「業務改善・製品付加価値向上に向けた IoT活用事例」

講師：あべ木 順一 中小企業診断士

「IoTは、うちの会社で使えるものなのか？」という中小企業経営者の疑問を一緒に考える手がかりとして、事例の解説を行い、IoT導入への道筋としたいとの主旨で話が進められた。

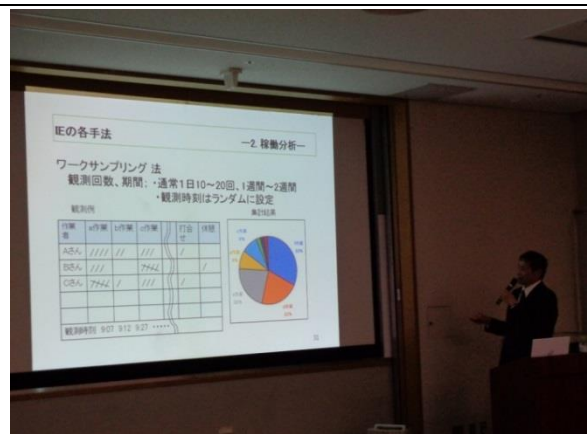
まずは、IoTとは何か、何ができるかの解説が、IoTの技術要素の説明と合わせて行われ、その後  
①業務効率の改善(コスト削減・生産性向上)と、②製品・サービスの付加価値向上の二つの観点から、夫々、事例を中心に導入環境の説明も含め、解説がなされた。

示された要点は下記の通りである。

- (1) IoTは、上記二つの観点に対し、何れにも有効なICTのツールである。
- (2) 安価なセンサー、デバイス、無線ネットワーク、そしてクラウドサービスの活用が考えられる。
- (3) IoTの導入は、課題の明確化・解決のためのデータのデジタル化とその活用が出発点。



会場風景



講演風景